

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 8 年 5 月 28 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社 西海建設
所 在 地	〒850-0032 長崎県長崎市興善町 2 番 8 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 寺澤 孝憲
担 当 者 連 絡 先	電 話：095-825-1413 (担当：前田 圭介)
	メー ル：k-maeda@saikai.ne.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.saikai-grp.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、昭和 32 年の創業以来、県内の港湾を中心とした海洋土木工事の牽引企業として公共・民間工事に携わっており、東日本大震災では直後に石巻市にボランティア支援を行い、翌年からは「海の再生」を目指し起重機船と職員を派遣して、7 年間震災の復興活動に努めた。 また、平成 31 年には最新鋭の ICT 施工支援システムを備えた県内最大級の多目的大型起重機船 550 t 吊の建造に加え、令和 6 年には燃料消費量の低減を可能とする蓄電システムを備えた多目的中型起重機船 150t 吊を建造し、大型浮桟橋や浮防波堤の施工、洋上風力発電施設の設置など幅広い分野で稼働している。 さらに、令和 4 年から「長崎県 SDGs 登録企業」として SDGs 達成に向けた取り組みを行っている。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	DX 部門強化により、働き方改革の推進、まちづくり・インフラ整備への ICT/IoT 最新技術の活用を強化する。	DX 専担者を 4 名以上配置する。
□環境 ✓社会 ✓経済	自社での研修内製化や専門外・多様性を踏まえ、将来を担う優秀な若者の確保・育成・定着を強化する。	社員数に占める 30 歳未満の比率を 30%以上とする。
✓環境 ✓社会 □経済	地域振興等への協賛やボランティア等の地域貢献活動に積極的に取り組む。	地域振興等の協賛や自社周辺の清掃、および県内の海岸清掃活動に毎年 60 件以上参加する。

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ホームページに「環境方針」を開示している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・施主等からの評価や意見を社内で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・施主等からの評価や意見を社内で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ISO14001を取得し、自社のEMS(環境マネジメントシステム)に基づき、自然環境と地域発展の調和を目指した環境パフォーマンスの継続的な改善に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・若者の地元定着を後押しするために、ICT／IoT等の先進技術を積極的に取り入れ、生産性の向上とあわせ、ワークライフバランスを意識した“働き方”を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・日常だけでなく、台風・大雨などの自然災害復旧工事や冬場の融雪剤散布など、各種災害協定に基づき、要請の都度、迅速に対応している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地域におけるスポーツ振興(ミニラグビー大会開催など)や環境保全への協賛、清掃等、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。 ・長崎県内の全21市町村の海岸清掃イベント「スポGOMI in NAGASAKI」の特別協賛として、令和3年から支援および参加を継続している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・地元の協力会社を積極的に利用している。								8	9		11	12	13				

